

東北次世代がんプロ養成プラン セミナー実施報告書

(セミナー名称)	
講演者	: 作山 佳菜子
所属	: 東北大学病院
テーマ	: がん患者への就労支援
担当者氏名: 佐藤 富美子 教授	所属: 東北大学大学院がん看護学分野
内線: 7926	Email: fsato@med.tohoku.ac.jp
1. 実施年月日:	
令和 4年 3月 22日	
2. 開催場所:	
ZOOM	
3. 関連分野:	
就労支援、がん看護	
4. 対象者:	
一般の方々、医療従事者、学生等、どなたでも	
5. 参加人数: 35名 (医療従事者・学生・教員など)	
6. 成果:	
<p>今回の講演会も、コロナ禍のためオンラインシステムを利用した講演会となった。講演者は、本学にてがん看護専門看護師課程を修了した専門看護師の候補生である。現在は、東北大学病院の外科病棟に勤務している。本日は、講演者が修士課程で取り組んだがん患者への就労支援に関してご講演いただいた。</p> <p>講演では、がん患者の就労状況やその困難についてレクチャーがあった。講演者は、修士課程において造血幹細胞移植後の就労支援に関する調査を行った。その調査結果について説明があり、知見を活かして行くのは今後の課題としてあがった。参加者からは、結果の読み取り方や看護実践に活かしていくための取り組みについて質問があった。</p> <p>本日の参加者は学部学生が多かったものの、臨床看護師の参加もあり、実臨床で生かしていくための知見を共有できたことが成果である。</p>	

【当日の会場の様子などの写真がございましたら、添付ください】



Safari 18:51 3月22日(火) Zoom

仕事と治療等の両立に関する認識(世論調査)

◎ 現在の日本の社会では、がんの治療や検査のために2週間に一度程度病院に通う必要がある場合、働きつづけられる環境だと思うか

調査対象	そのうち 働きつづけられる	働きつづけられる が、多少の調整が必要	働きつづけられない	わからない
合計調査 (1847人)	32.8	24.2	15.5	27.5
平成29年11月調査 (1816人)	9.8	18.1	7.7	24.4
【性別】				
男性 (774人)	34.5	28.2	11.1	26.2
女性 (879人)	11.8	22.6	8.1	27.5
【年齢】				
18～29歳 (165人)	14.4	29.7	1.8	18.4
30～39歳 (170人)	14.8	24.2	1.1	21.9
40～49歳 (265人)	9.8	27.1	8.2	20.7
50～59歳 (268人)	13.8	27.2	8.2	20.9
60～69歳 (324人)	14.8	21.9	1.8	24.5
70歳以上 (427人)	13.8	28.8	15.9	24.1

出典:内閣府 がん対策・たばこ対策に関する...

作山 佳菜子の画面